

令和元年度第4回外部評価委員会での主な意見

令和2年2月19日水 15:00～
中津川市役所本庁舎4階大会議室

議 事

1. 外部評価報告書(案)について

- ・ 共通する事項の市の対応方針は、担当部署と協議をして決めた内容となっているか。
- ・ 防災講演会で「四ツ目川災害」の事例を紹介しているが、「四ツ目川災害」以外にも、かつて山口地区の「大又沢」で発生した鉄砲水による災害など、市内の他事例も写真などで紹介してほしい。

2. 今後の進め方(案)について

- ・ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会(以下、総合戦略推進委員会とする。)」の委員構成はどうなっているか。
- ・ 総合戦略推進委員会の委員は、中津川市の各分野の代表者が集まっており、計画の検証を行うのに適していると思うが、「市民目線」という視点に欠ける委員構成だと思う。委員会の考えが独り歩きしないように、一般市民の意見を取り入れることができるようにしてほしい。
- ・ 6月に新しい委員会が組織されるので、ぜひ外部評価委員会の中から委員へ立候補してほしい。
- ・ 計画の一本化には賛成する。市内各地域の間にはまだ壁を感じるので、各地域の方が委員会に入してほしい。
- ・ 中津川市は広く、各地域の特色があるので、学識者だけでなく、各地域・分野の意見が反映される委員会にしてほしい。
- ・ 今回、外部評価委員を務めて、市の取り組みがよく分かった。これから若い世代に取り組みを伝えていきたい。
- ・ 新しい委員会を組織する際に、地域によって様々な課題が存在するので、各地域の代表者で委員会を組織することが望ましいが、委員数が多いと、会議の中で発言しにくいので、外部評価委員会の定員である10人程度であると意見交換が活発になると思う。
- ・ 外部評価委員会に参加し、市の事業が市民の意見を汲んで進められていることに感心した。若い人・市外からの移住者が新しい委員会に参加してほしい。そのような新しい意見を持った方を発掘して、委員会で議論をすることが良いと思う。
- ・ 外部評価委員会の委員構成はバランスが取れていると思った。地域代表としての意見でなく、地域で生活する庶民として意見交換ができたので、各地域の

忌憚のない意見を聞くことができた。また市の取り組みをほとんど知らないところから委員を務め、前期２年間に分科会形式で事業検証を行ったことで深く理解することができ、自分でも関連する分野を勉強する機会となったので、新しい委員会でも分科会形式の検証は良いと思う。学識者だけの構成になると、同じような意見でまとまってしまうので、偏った意見にならない構成にしてほしい。

- ・市(外部委員会事務局)が市民の意見を聞いてくれる姿勢があったので、発言がしやすかった。また意見を関連部署へつないでくれたことも良かった。市を良くしていきたいという、前向きな意見を各委員から聞いたことで、自分が市に対してできることを見直すことができた。
- ・外部評価委員会の中で、各地域・立場からの意見を聞くことができて良かった。新しい委員会の構成については、若い人、また新しく移住してきた方の意見は大切になってくるので、委員数のバランスを踏まえて選んでほしい。